



日本被団協にノーベル平和賞！！

ノルウェー・ノーベル賞委員会は10月11日、今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会に授与すると発表しました。日本原水協は、被爆者とともに運動してきた団体として、被団協のノーベル平和賞の受賞を心から喜び、核兵器廃絶への決意を述べました。掲載します

日本被団協のノーベル平和賞受賞にあたって

2024年10月12日

原水爆禁止日本協議会

2024年ノーベル平和賞の日本被団協への受賞が発表された。核兵器のない世界をめざす草の根からの運動と被爆体験の証言によって核兵器使用の手を抑えてきた「並々なぬ努力」が評価されたものだ。我々は、この受賞を心から歓迎する。

実際、被爆者は、終戦後の占領と原爆報道の規制の下で、多くが身寄りや生活の術を失うなかで、ビキニ事件（1954年）を期に、原水爆禁止の行動に広範な国民とともに立ち上がり、みずからの体験を通して人類の危機を救おうと決意し、日本被団協を結成した。日本原水協は、被爆者とともに原水爆禁止の運動を立ち上げ、発展を担ってきたものとして、日本被団協の受賞を我がこととして喜び、核兵器の廃絶の流れをさらに前進させるために全力をあげたい。

今回の受賞にあたっての一つの重要な点は、ノーベル委員会の推薦の声明でもふれているように、被爆者の証言が力となって作り出された核兵器使用の「タブー」が、深刻な危険にさらされていることだ。核大国によって核兵器使用の威嚇が繰り返され、他方で、「核抑止力」の名で、新たな核兵器の開発・配備や「近代化」、核戦略と結びついた通常兵器の大軍拡などが大規模にすすめられている。

我々は、この機に、改めて日本が唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約に参加し、核兵器のない世界のためにイニシアチブを発揮するよう、2025年の被爆80年に向け、被爆者の体験とメッセージを継承する国民的な決意と運動をよびかけたい。

全組合員もれなく投票しましょう！！

「組合役員選挙」「24秋闘ストライキ権批准」

各投票は、今週10月18日（金）までです。

第50回衆議院選挙今日公示→27日（日）投票

私たちの要求を実現するために みんなで選挙に行きましょう！！

職員、組合員の皆さんへ呼びかけます。

執行委員長 高村美幸

石破政権が発足し、解散総選挙となりました。

私たちの現場は、診療報酬・介護報酬等によって運営され、その制度設計は、政治の影響を強く受けます。また、実際に身の回りで起きている問題は、政治による責任が大きいのと思われます。投票は私たちの権利です。医療・介護・福祉が大切にされる社会を実現するため、私たちの要求を実現するため、棄権せず必ず選挙に行き投票しましょう！

<衆議院選挙について>

①投票日は10月27日（日）です。

2回投票します。最初に小選挙区選挙「候補者名」、次に比例代表選挙（11ブロック）「政党名」となります。

②期日前投票について（下記に投票所一部掲載します。）

※入場券（ハガキ）がない場合でも、選挙人名簿に登録されている方であれば投票ができます。

秋田
市

会 場	期 日	時 間
市役所市民ホール	10月16日（水）～26日（土）	8：30～20：00
秋田駅前ポポロード	10月20日（日）～26日（土）	10：00～20：00
イオンモール秋田2階	10月20日（日）～26日（土）	10：00～20：00

大仙
市

会 場	期 日	時 間
大曲武道館	10月16日（水）～26日（土）	8：30～20：00
イオンモール大曲	10月16日（水）～26日（土）	10：00～19：00
タカヤナギイーストモール	10月16日（水）～26日（土）	10：00～19：00